

## ウクライナ支援緊急「街頭カンパ」を実施しました！

連合北海道のウクライナ難民を支援する緊急カンパは、構成組織による職場内などでのカンパとともに、全道各地で地協・地区連合による街頭カンパが行われています。

3月23日には札幌市内で連合北海道、石狩地協、札幌地区連合、そして退職者連合による街頭カンパ活動が行われました。

街頭に立ちカンパを呼びかけた杉山連合北海道会長は、プーチン大統領による核兵器使用を示唆する発言に対して「使用はもちろん、核兵器による威嚇を断じて認めることができない」とした上で、「ロシアの侵攻により多くのウクライナ難民が発生しており、連合北海道は構成組織、そして全道各地の街頭で人道支援カンパに取り組んでいる。多くの皆様のご協力を」とカンパを呼びかけました。

続いて小倉総合政策局長・山口石狩地協副事務局長が「子どもや老人など300万人を超えるウクライナ難民が発生している。ロシア国民も含めた多くの市民が戦争に反対し、ウクライナ難民に心を痛み支援に立ち上がっている。私たちも食料や医療品など人道支援に用途を限定しカンパ活動を行っています」とカンパへの協力を呼びかけました。

オフィス街での昼休みに行った1時間あまりのカンパ活動に「14万2318円」ものカンパをいただきました。

近隣のオフィスに勤務する方、路行く市民の方、また、道新朝刊で知り駆けつけていただいた方からもカンパをいただきました。感謝申し上げます。

今後も全道各地で街頭カンパが行われます。また、連合北海道は労金口座を開設して市民の方からのカンパも募集しています(HPに特設しています)。

今後も御協力をお願いします。

